



皇和電機株式会社  
<http://www.seiwa.co.jp/>  
京都府城陽市寺田新池36番地  
TEL: 0774-55-8181

## 経営理念

人材の開発と相互信頼に努め、  
新技術に挑戦して、  
社会に貢献する。

株主のみなさまへ	1
財務ハイライト(連結)	3
事業別の概況(連結)	
情報機器事業	5
照明機器事業	6
コンポーネント事業	7
トピックス	8
新製品のご紹介	9
財務の状況(連結)	11
財務の状況(個別)	12
会社概要	13
株主メモ	14

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて当社グループ第65期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)の事業が終了しましたので、その概要をご報告申し上げます。

当期におけるわが国経済は、東日本大震災の復興関連需要などを背景にした堅調な国内需要に加え、年末以降の株価回復や円高是正により景気回復の兆しが見られる状況となりました。しかしながら、欧州の債務危機問題による景気の低迷や新興国経済の減速など、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いています。

このようななか、当社グループにおきましては、従来にも増してコスト低減活動、製品品質向上活動に努め、顧客満足度を高めるべく提案営業活動を推し進め、事業推進力の一層の強化に取り組んでまいりました。

この結果、民需関連製品では、産業用照明器具が設備投資の堅調な推移のなか増加しました。また、配線・配管保護機材は微増となりましたが、電磁波環境部品は売上が伸び悩みました。公共投資関連の道路情報機器、道路・トンネル照明器具は、高速道路向けを中心に減少しました。

利益におきましては、厳しい価格競争が続くなか、生産性の向上や業務の合理化による諸経費の削減と原価低減に取り組み、前期に比べ増益となりました。

その結果、当期の売上高は186億61百万円(前期比5.8%減)、経常利益は4億23百万円(前期は5億69百万円の経常損失)となりました。また、特別損失として当社の製造設備の減損損失と子会社の固定資産の減損損失を計上したことにより当期純損失は3億54百万円(前期は6億42百万円の当期純損失)となりました。

当期の配当につきましては、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。

次期の見通しにつきましては、引き続き震災復興需要による景気の下支えが見込まれるものの、円安による輸出の好転に対して、輸入原材料の高騰、欧米諸国や新興国の景気減速の影響もあり、景気の先行きは不透明な状況が続くと予想されます。

このようななか、販売においては、マーケティング機能の強化により、顧客ニーズの対応力を高めると共に、新たな付加価値を提供する新製品の企画・開発を進めてまいります。また、生産においては新製品の開発促進、原価低減活動、生産性の向上など内部環境の強化を図り、競争力を高めてまいります。

さらに、全事業分野にわたり社会の発展に寄与する独創的な商品の提供はもとより、省エネルギーを実現する商品の開発を促進し、地球環境に配慮した取り組みを進めるとともに、品質・安全性の確保を図り、顧客満足の一層の向上に努めてまいります。

なお、本年4月より、これまでの社内カンパニー制から本部制・

事業部制へ組織変更を行いました。社内カンパニー制の下10年が経過し、意思決定の迅速化と責任体制の明確化等、当初の狙いは機能してまいりました。しかし、その利点以上に市場環境が大きく変化し、本来の営業力とされる「マーケティング力」と「販売力」を再強化する必要性に迫られています。今回の組織変更により、今後の成長の原資とすべき、LED照明事業の拡大、公共分野での物品販売事業の拡充に向けた、販売力とものづくり力の強化を図ります。

また、ひきつづき全社を挙げて内部統制の確立、コーポレートガバナンスの強化、コンプライアンスの徹底に取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

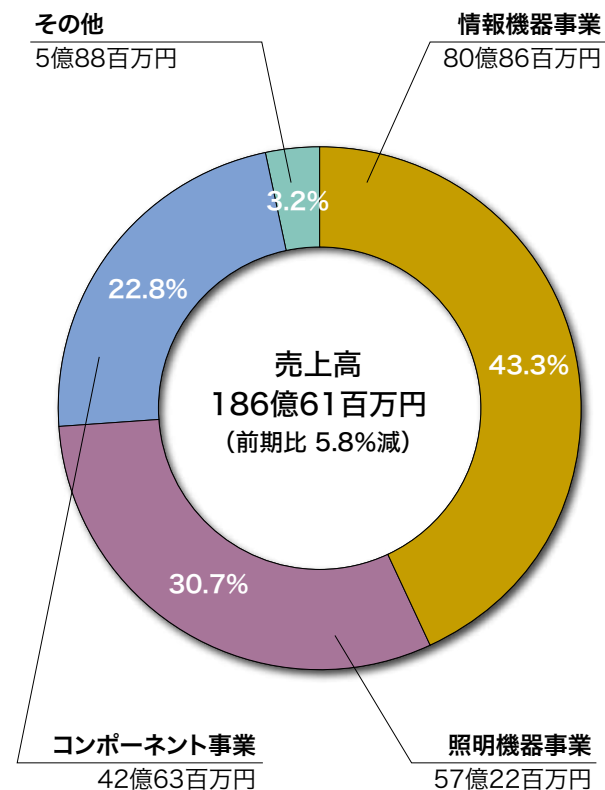
平成25年6月

取締役社長

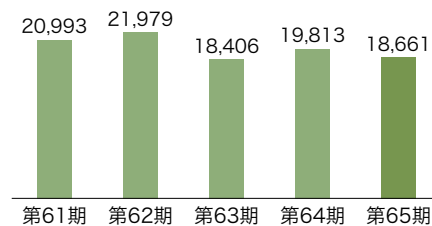
増山晃章



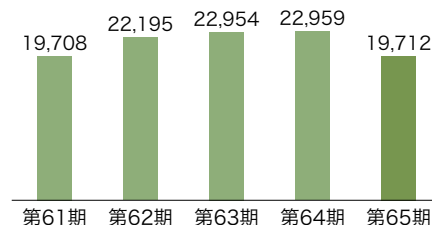
# 財務ハイライト(連結)



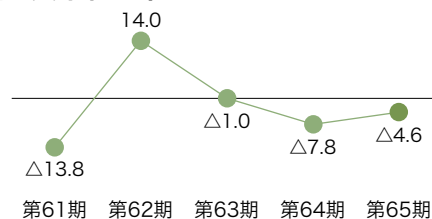
売上高 (単位:百万円)



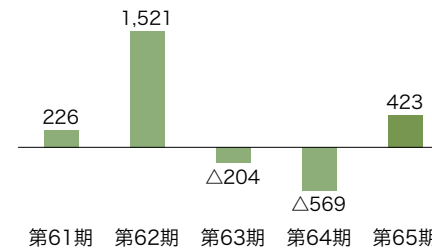
総資産 (単位:百万円)



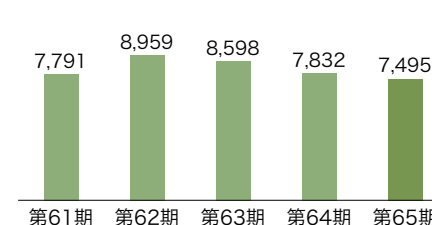
自己資本利益率 (単位:%)



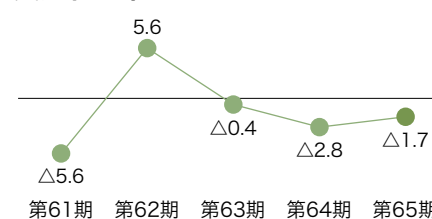
経常利益 (単位:百万円)



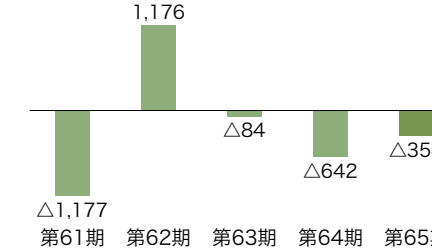
自己資本 (単位:百万円)



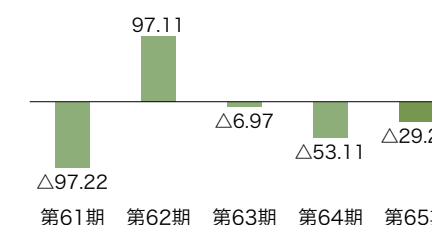
総資産利益率 (単位:%)



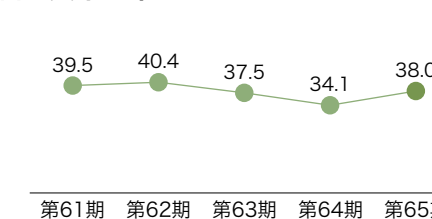
当期純利益 (単位:百万円)



一株当たり当期純利益 (単位:円)

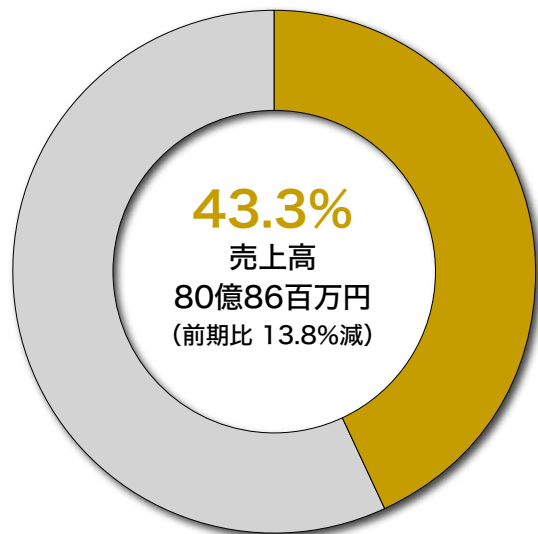


自己資本比率 (単位:%)



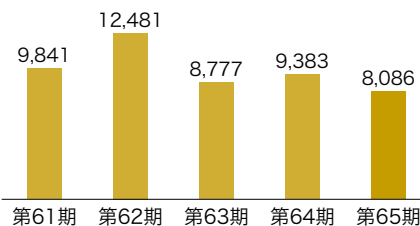
# 事業別の概況(連結)

## 情報機器事業



主要製品: 情報表示システム トンネル防災システム  
LED式信号機

売上高(単位:百万円)

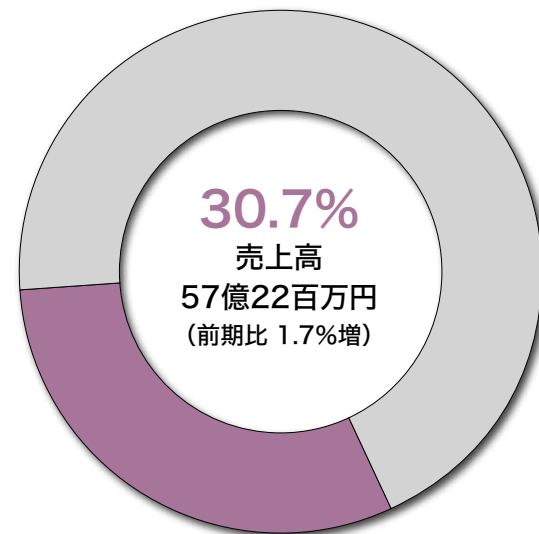


情報表示システムは、道路情報を主に、河川情報表示システム、トンネル防災システム、LEDによるインフォメーション・ディスプレイ、LED式信号機など、高度情報化時代にふさわしいコミュニケーションツールとしてあらゆるシーンへの対応を積極的に展開しています。



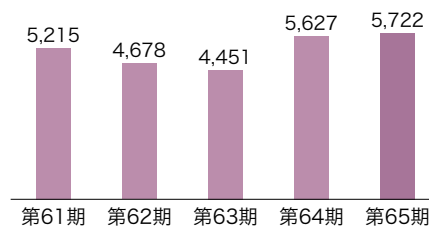
この事業の主力製品であります道路情報機器において、一般道路向けの売上は、前期水準で推移しましたが、高速道路向けの売上が前期に比べ減少しました。

## 照明機器事業



主要製品: 照明器具 制御機器 LEDデバイス部品

売上高(単位:百万円)

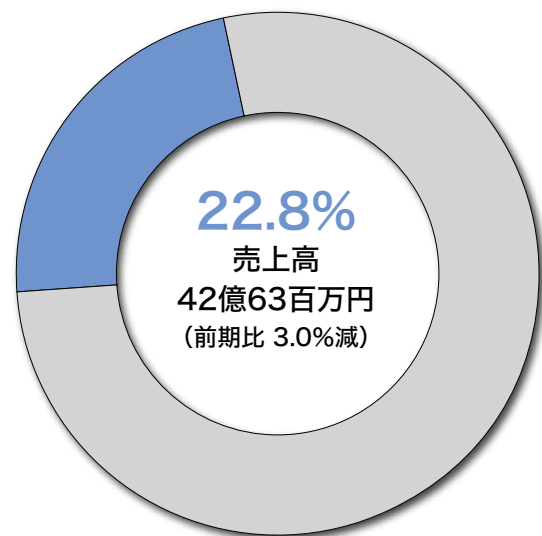


「安全で人にやさしく」を開発テーマに、一般道・高速道路の照明やトンネル照明、産業用照明(防爆・防水関係)、街を彩る街路照明、ライトアップ用の景観照明など、LEDを光源とした各種LED照明に多くの実績を誇っています。特に、産業用照明の分野では「工場丸ごとLED化」を展開し、工場内の各所向けにLED照明をラインナップしています。



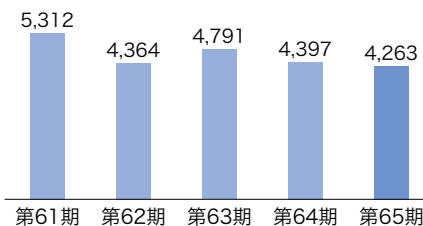
民間設備投資関連の産業用照明器具は、LED照明器具や蛍光灯器具などが着実に伸び、前期に比べ増加しました。一方、公共投資関連の道路・トンネル照明器具は減少しました。また、LEDデバイス部品は減少しました。

コンポーネント事業



主要製品:配線保護機材 配管保護機材  
電磁波環境部品

売上高(単位:百万円)



配線保護機材分野のパイオニアとして環境対策製品の開発にもいち早く取り組んでいます。

世界のEMI規格、イミュニティ規格に対応する電磁ノイズ対策製品を幅広くラインナップし、さまざまな用途に対応しています。



エアコン用の配管保護機材は前期に比べ増加しましたが、配電盤や機械装置に用いる産業用配線保護機材は減少しました。また、電磁波環境部品はデジタル関連市場の落ち込みにより減少しました。

近畿地方整備局  
災害時建設事業継続力認定

国土交通省近畿地方整備局より災害時の事業継続力を備えている建設会社として、認定書の交付を受けました。(有効期限は2年間)

本認定書の交付を受け認定期間中は更に、災害に対する被害の軽減、早期の通常稼働(生産・製造業務等)への復旧に努めるとともに、地域に貢献してまいります。

今後も事業継続計画(BCP)の改善を継続的に進め、事業継続力の向上を図ります。



工場丸ごとLED化  
～LED高天井照明器具 LFHX～

工場丸ごとLED化をテーマに、一般エリアの倉庫向けにLED高天井照明器具をラインナップしました。

従来の水銀灯400形と明るさは同等で、消費電力は約63%減となっております。

光源は60,000時間と長寿命で、高所作業でのランプ交換回数を減らすことができ、保守メンテナンス費用を大幅に削減できます。また、LEDの特徴である瞬時点灯により、突発的停電後でも、視環境の即時復旧が実現します。

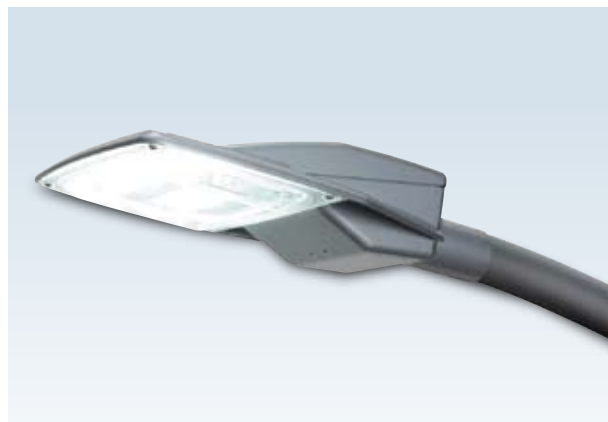


## LED歩道照明器具 DELGA-mini

### LED歩道照明器具 DELGA-mini を発売

LED道路照明器具 (DELGA デルガ) の新たなラインナップとして、LED歩道照明器具 (DELGA-mini デルガミニ) をリリースしました。

本製品は、DELGAと同様にLEDならではのコンパクト設計により、従来品 (パロスミクロス) より薄型で軽量化を実現しました。また、水銀灯・ナトリウム灯と同等の照明性能を維持しながら、大幅な省電力化を達成しました。バリエーションは、20VA、40VA、60VA仕様の3種類で、場所ごとに適した明るさを選定できるようになるため、更に省エネを図れます。



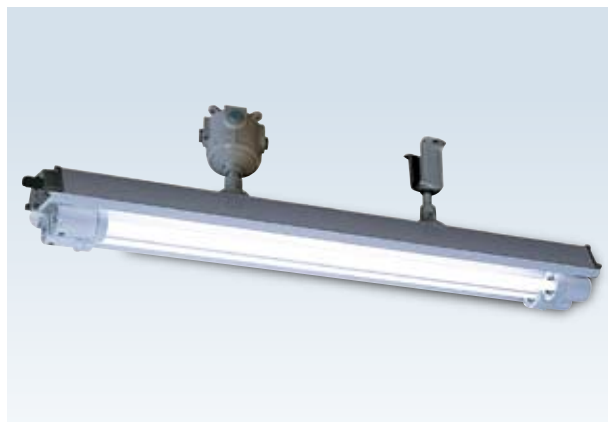
## 防爆形LED灯器具 LZAA

### 防爆形LED灯器具 LZAAシリーズ を発売

国際整合防爆指針2008規格に整合し、直管LEDランプを採用した防爆形LED灯器具です。Zone1、Zone2エリア、水素エリアに対応しております。

光源部 (ランプ) のみの交換が可能となっており、光源と器具一体式の従来型LED灯器具と比べ照明設備更新時に設備投資の抑制が図れます。

また、FLR40形2灯相当の明るさを実現し、消費電力は従来の蛍光灯に比べ約46%削減 (当社試算条件下) できます。ランプは従来の蛍光灯と同じ方式で交換が可能です。



## 防爆形LED灯器具 LZIA

### 防爆形LED灯器具 LZIAシリーズ を発売

国内メーカーでは先駆けとなる水銀灯400形相当品の防爆形LED灯器具です (国際整合防爆指針2008規格)。Zone1、Zone2エリア、水素エリアに対応しております。

光源寿命は60,000時間となっており長期間のメンテナンスフリーによる保守メンテナンス費用の抑制が図れます。

また、従来の水銀灯400形相当の明るさを実現し、消費電力は約67%削減 (当社試算条件下) できます。

制御装置別置形と併置形があり、制御装置別置形では灯具と制御装置を最大50mまで離して設置が可能です。



## エスシーロック フランジタイプ SCF形

### エスシーロック フランジタイプ SCF形 (SCF-18) を発売

エスシーロック フランジタイプ SCF形は、機器筐体へのケーブル引込口の防水、防塵を実現するエスシーロックの改良版です。特長は、筐体内部の空間が狭い場所などに、前面からのビス固定で取り付けが可能になった事です。従来品に比べて筐体内部スペースの有効活用や筐体全体の小型化が図れます。性能は従来品と同様に防水等級IP67 (ビス取り付け部除く) で、難燃性 (UL94V-0) も有しております。他のサイズも順次発売予定です。



## 財務の状況(連結)

	前期(第64期) 平成24年3月31日現在	当期(第65期) 平成25年3月31日現在
<b>【資産の部】</b>		
流動資産	15,620	13,547
固定資産	7,339	6,164
有形固定資産	4,342	3,246
無形固定資産	296	274
投資その他の資産	2,701	2,643
資産合計	22,959	19,712
<b>【負債の部】</b>		
流動負債	11,541	9,538
固定負債	3,491	2,579
負債合計	15,032	12,118
<b>【純資産の部】</b>		
株主資本	7,580	7,116
資本金	3,380	3,380
資本剰余金	3,613	3,613
利益剰余金	784	321
自己株式	△197	△197
その他の包括利益累計額	251	378
少数株主持分	94	98
純資産合計	7,926	7,594
負債純資産合計	22,959	19,712

	前期(第64期) 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	当期(第65期) 平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで
売上高	19,813	18,661
売上原価	16,953	14,972
売上総利益	2,860	3,689
販売費及び一般管理費	3,383	3,241
営業利益又は営業損失(△)	△523	448
営業外収益	125	137
営業外費用	171	162
経常利益又は経常損失(△)	△569	423
特別利益	5	35
特別損失	65	863
税金等調整前当期純損失(△)	△629	△404
法人税、住民税及び事業税	23	36
法人税等調整額	△7	△90
少数株主損益調整前当期純損失(△)	△645	△350
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△3	3
当期純損失(△)	△642	△354

	前期(第64期) 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	当期(第65期) 平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△544	2,870
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,462	△155
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,670	△3,006
現金及び現金同等物に係る換算差額	△23	28
現金及び現金同等物の増減額	△360	△263
現金及び現金同等物の期首残高	2,977	2,616
現金及び現金同等物の期末残高	2,616	2,353

## 財務の状況(個別)

	前期(第64期) 平成24年3月31日現在	当期(第65期) 平成25年3月31日現在
<b>【資産の部】</b>		
流動資産	15,020	13,090
固定資産	7,689	6,083
有形固定資産	3,933	2,871
無形固定資産	156	119
投資その他の資産	3,600	3,091
資産合計	22,710	19,173
<b>【負債の部】</b>		
流動負債	11,435	9,336
固定負債	3,491	2,579
負債合計	14,926	11,915
<b>【純資産の部】</b>		
株主資本	7,488	6,909
資本金	3,380	3,380
資本剰余金	3,613	3,613
利益剰余金	692	113
自己株式	△197	△197
評価・換算差額等	296	348
純資産合計	7,784	7,257
負債純資産合計	22,710	19,173

	前期(第64期) 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	当期(第65期) 平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで
売上高	19,615	18,376
売上原価	16,693	14,735
売上総利益	2,921	3,641
販売費及び一般管理費	3,353	3,106
営業利益又は営業損失(△)	△431	535
営業外収益	117	128
営業外費用	169	160
経常利益又は経常損失(△)	△483	503
特別利益	5	26
特別損失	46	1,061
税引前当期純損失(△)	△524	△532
法人税、住民税及び事業税	20	32
法人税等調整額	△8	△94
当期純損失(△)	△536	△469

# 会社概要

## 会社の概況(平成25年6月27日現在)

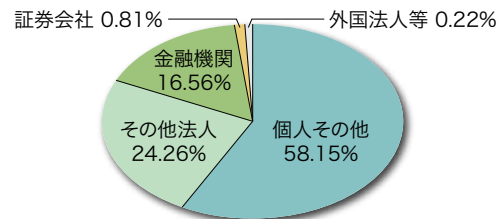
商号 星和電機株式会社  
 英文名 SEIWA ELECTRIC MFG. CO., LTD.  
 創業 昭和20年10月1日  
 資本金 33億80百万円

事業所  
 本社・工場 京都府城陽市寺田新池36番地  
 北海道支社 札幌市中央区大通西7丁目1番地1  
 東京支社 東京都千代田区神田美土代町3番地3  
 中部支社 名古屋市東区泉一丁目21番15号  
 関西支社 大阪市西区靱本町一丁目4番12号  
 営業所 東北(宮城県)・新潟・京都・高松・  
 広島・福岡

## 株主の状況(平成25年3月31日現在)

発行可能株式総数 33,782,000株  
 発行済株式の総数 12,382,000株  
 株主数 1,684名

所有者別株式分布状況



## 役員(平成25年6月27日現在)

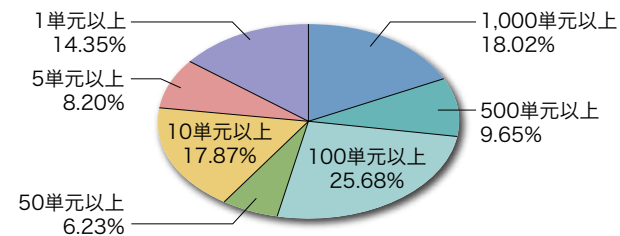
取締役社長(代表取締役) 増山晃章  
 専務取締役(代表取締役) 愛知後秀作  
 専務取締役 山口豊隆  
 常務取締役 井上通昭  
 取締役相談役 富田泰溥  
 取締役 佐野廣一  
 取締役 正林啓志  
 取締役 望月友彦  
 取締役 乾勝典  
 監査役(常勤) 酒井邦夫  
 監査役 中野淑夫  
 監査役 益満清輝

※監査役のうち中野淑夫および益満清輝は社外監査役であります。

## 執行役員(平成25年6月27日現在)

執行役員 多田健司  
 執行役員 八木舜  
 執行役員 古田雅也  
 執行役員 竹之内光彦  
 執行役員 小林浩幸  
 執行役員 春山雅彦

所有数別株式分布状況



# 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
 定時株主総会 6月  
 基準日 定時株主総会 3月31日(その他必要があるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。)  
 期末配当 3月31日  
 中間配当 9月30日

単元株式数 1,000株  
 株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社  
 同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

公告方法 当社のホームページ(<http://www.seiwa.co.jp/>)に掲載します。  
 ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

## お問い合わせ先

	証券会社等の口座で株式をお持ちの場合	特別口座に記録された株式をお持ちの場合
郵便物送付先	お取引の証券会社等	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	※支払明細発行については、右欄の「特別口座の場合」と同じ郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできません。 みずほ証券株式会社 本店、全国各支店および営業所 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) ※カスタマープラザではお取り扱いできません。
未払配当金のお支払い	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 株式会社みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券株式会社では取次のみとなります。)	